

1月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,809	95	12,613	105	90	80	-	0.0	神奈川、千葉産中心で全体の約9割を占める。神奈川、千葉とも11月中旬以降の低温等の影響により生育、肥大は停滞気味で、L、2Lサイズ中心の出荷となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや下回るものの平年より高くなる見込み。
はくさい	13,772	95	12,966	72	90	53	-	0.0	茨城産中心で全体の約9割を占める。茨城は秋の台風や11月中旬以降の低温の影響により生育が停滞気味である。結球も弱く、小玉傾向で、入荷量は前年を若干下回る。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回るものの平年より高くなる見込み。
キャベツ類	13,161	97	13,001	120	100	113	-	0.0	愛知、千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約8割を占める。愛知は台風や10月の曇雨天の影響により小玉傾向で、入荷量は前年より少なくなる。千葉、神奈川は11月中旬以降の低温の影響により小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。
ほうれんそう	1,522	100	1,593	574	96	506	-	0.0	群馬、茨城、千葉、埼玉産中心の入荷となる。群馬は、露地栽培では台風及び降雨による病害の発生や、その後の低温と乾燥による生育停滞等があり、入荷量は前年をやや下回る。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回るものの平年より高くなる見込み。
ねぎ	4,984	102	5,197	283	88	249	17	0.3	千葉、埼玉、茨城、群馬産中心の入荷となる。千葉、埼玉ともに夏場の高温と乾燥、その後の台風の影響等による生育遅れが回復してきており、入荷量はほぼ前年並みとなる。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年をかなり下回るものの平年並みとなる見込み。
きゅうり	4,834	100	5,169	481	87	398	-	0.0	宮崎、高知、千葉産中心の入荷となる。宮崎は安定した天候が続いており、生育順調で前年並みの入荷となる。高知は低温、曇天が続き生育がやや停滞気味に推移しており、入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回るものの平年より高くなる見込み。
トマト	5,222	98	4,796	370	103	382	-	0.0	熊本、愛知、栃木、宮崎産中心の入荷となる。熊本は生育にバラツキが見られ、入荷量は前年よりやや少なくなる。愛知も曇雨天続きで生育停滞や着色の遅れが見られ、入荷量は前年を若干下回る。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年をやや上回り平年並みとなる見込み。